

伯耆町地域福祉推進プランの取組状況の概要

資料1

基本目標と主要な施策	R6年度の実施状況						R7年度の実施見込み					
	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止
基本目標1 安心して暮らせる仕組みづくり	51	0	51	0	0	0	51	0	51	0	0	0
(1)総合的な相談体制の充実	12	0	12	0	0	0	12	0	12	0	0	0
(2)情報発信・情報共有の充実	7	0	7	0	0	0	7	0	7	0	0	0
(3)福祉サービスの充実	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(4)権利擁護の推進	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(5)配慮が必要な人への支援	10	0	10	0	0	0	10	0	10	0	0	0
基本目標2 支え合いの地域づくり	48	1	43	1	3	0	48	1	47	0	0	0
(1)地域福祉意識の高揚	8	0	8	0	0	0	8	0	8	0	0	0
(2)福祉ボランティア活動の推進	7	0	6	0	1	0	7	0	7	0	0	0
(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進	11	1	9	0	1	0	11	1	10	0	0	0
(4)福祉活動への支援	7	0	6	1	0	0	7	0	7	0	0	0
(5)社会福祉協議会との連携強化	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(6)災害時の防災体制の充実	11	0	10	0	1	0	11	0	11	0	0	0
基本目標3 いきいきと暮らせる環境づくり	23	0	23	0	0	0	23	0	23	0	0	0
(1)地域における交流活動の充実	13	0	13	0	0	0	13	0	13	0	0	0
(2)社会参加・生きがいづくりの推進	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(3)外出しやすい環境の整備	6	0	6	0	0	0	6	0	6	0	0	0
合計	122	1	117	1	3	0	122	1	121	0	0	0
		1%	96%	1%	2%	0%		1%	99%	0%	0%	0%

伯耆町地域推進プランは、基本理念を『住民役の誰もが安心して暮らせるまちづくり』として、本町の地域福祉の方向性として設定する「地域共生社会の実現」を目指し令和4年度から令和8年度までを計画期間として取り組んでいます。

このプランは上のように3つの「基本目標」と、この達成のために取り組む14項目の「主要な施策」があり、これらを具体的に実施するため各所管が行う取組み内容があります。

取組み内容の内、「実施」状態にあるものは令和6年度末は122件中の117件(96%)となりました。一方、「検討」「未実施」となっている取組み内容は令和6年度は「検討」1件、「未実施」3件となっています。詳細は次ページに記載しています。

また、令和5年度から表示されている「完了」1件は介護支援ボランティア関係の所管が健康対策課から社会福祉協議会に移り、課としての取組みが終わったためのものです。令和6年度以降の今後の取組みで「未実施」「検討」はなくなることが見込まれています。

「検討」「未実施」の取り組み内容

取り組み事項	所管	令和6年度の取り組み内容		今後の取り組み方針
基本目標2 支え合いの地域づくり				
主要な施策(2) 福祉ボランティア活動の推進				
継続的な取り組みへの支援	社会福祉協議会	未実施		実施 ボランティア人材の育成のため、ボランティア養成講座の開催を検討する。介護支援ボランティア養成講座は令和7年度から実施をする(隔年)。
主要な施策(3) 小地域福祉ネットワーク活動の推進				
地域福祉の担い手づくり	社会福祉協議会	未実施		実施 介護支援ボランティア養成講座は令和7年度から実施をする(隔年)。
主要な施策(4) 福祉活動への支援				
団体間の交流・連携の促進	社会福祉協議会	検討	団体間の交流・連携の促進はR6年度は表立った事業の形ではないが小規模保育所、身体障害者福祉協会、作業所みらいとの交流を行った。	実施 各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。
主要な施策(6) 災害時の防災体制の充実				
災害ボランティアセンターの機能強化	社会福祉協議会	未実施	災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルは作成してあるが、それに基づいた訓練等は未実施。	実施 マニュアル自体が以前に作成したものであり、内容について問題はないか点検をする。災害ボランティア研修を開催し、住民の理解を促進していく。

施策	⑦内容	番号	⑧所管	⑨R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑪-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑫数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8

基本目標1 安心して暮らせる仕組みづくり

主要な施策(1)総合的な相談体制の充実

総合的な相談体制の充実												
具体的な施策												
総合的な相談体制の充実	分野別相談窓口の強化	◆各分野で高度化、多様化する福祉相談に的確に対応するため、必要な相談窓口を整備するとともに、各窓口で利用者の立場に寄り添える相談体制を推進します。 ◆様々な相談内容に対応できるよう各種研修への参加等により職員のスキルアップを図り、分野別相談窓口の強化を図ります。	1	福祉課	福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。	必要に応じ課の相談機能を充実していく。	実施	実施	実施	実施	実施	
				健康対策課	地域包括支援センターで3職種により専門的相談に対応した。 《相談件数》 ・介護保険、その他サービスに関すること 697件 ・権利擁護に関すること 3件 ・高齢者虐待に関すること 7件 ・認知症に関すること 96件 ・その他 62件 合計 865件	高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていくために、介護だけでなく、福祉や医療、成年後見制度などさまざまな制度を組み合わせ、総合的に支援していく。	実施	実施	実施	実施	実施	
				社会福祉協議会	各種相談窓口を継続して設置した。 ・生活困窮者自立支援事業 ・各種地域福祉事業 ・介護・障害サービス事業 これ以外の相談も受け付け、本会で対応できない内容のものは適切な相談先につないだ。	現在の相談窓口を引き続き設置するとともに、本会では対応できない相談は適切な支援機関につないでいく。	実施	実施	実施	実施	実施	
				福祉課	各分野の研修会等に参加し、専門知識や相談スキルの向上に努めた。	引き続き研修に参加し相談スキルの向上を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	
				健康対策課	南部箕蚊屋広域連合が行う各種研修会に積極的に参加した。 ・地域包括支援センター職員研修会 初任者向け 1人 地域ケア会議 2人 ・認知症初期集中支援チーム員研修 1人 ・主任介護支援専門員研修 1人	引き続き各種研修会に参加し、専門的知識や相談スキルの向上に取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施	
				社会福祉協議会	相談援助技術向上のため各相談関係の研修会に参加した。	今後も研修会等に参加して職員のスキルアップに努める。	実施	実施	実施	実施	実施	
	相談窓口の周知	◆支援を必要とする人が、必要な時に、必要な相談窓口につながるができるように、各相談窓口が住民に充分浸透するよう効果的な周知を行います。	2	福祉課	子ども家庭総合支援拠点など相談窓口を広報紙、ホームページ、チラシ等で周知した。	引き続き各種相談窓口の効果的な周知を行えるよう取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施	
				健康対策課	広報ほうき及び南部箕蚊屋広域連合広報やまびこに相談窓口に関する記事を掲載した。 ・広報ほうき4回(4・6・10・12月号) ・南部箕蚊屋広域連合広報やまびこ2回(9・3月号)	継続して専門職が連携し、介護保険だけでなく様々な制度を活用し、高齢者を総合的に支援していることを周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施	
				社会福祉協議会	相談窓口を広報紙、ホームページ、チラシ等で周知した。	引き続き相談窓口を周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施	

施策	内容	番号	所管	⑦R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑨-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑩数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8	
相談窓口の連携	◆各分野で整備される様々な相談窓口間で円滑な連携を図り、複合的な地域生活課題に支援機関が連携して対応できる体制を構築していきます。	3	福祉課	相談窓口や関係する機関が円滑に連携できるように以下の会議を開催した。 ・子ども家庭総合支援連絡会 ・子ども施策関係機関連携 毎月定例開催 ・支援分野が重なるケースでは関係各分野が弾力的に連携し支援を実施した。支援調整の打合せを緊密に行った。	円滑な連携が保てるよう手法を見直しながら、継続し会議開催していく。	実施	実施	実施	実施	実施		相談機関ネットワーク会議の開催回数	未実施	未実施	年2回	
			健康対策課	【地域ケア会議】 分野横断する課題の庁内や関係機関との連携体制を確立し、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に、介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させた。 実施回数 4回 検討ケース 4件 【地域ケア推進会議】 個別課題の検討・抽出を行い、町村単位で協議・検討し政策形成につなげる場を設けた。 実施回数 1回	町内医療機関を含む関係機関との連携を深め、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		4	福祉課	民生児童委員の相談活動を支援するため助成を行った。	継続して助成を行い活動支援を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
主要な施策(2)情報発信・情報共有の充実																
情報発信・情報共有の充実	具体的な施策															
	わかりやすい福祉情報の提供	◆支援を必要とする人や福祉サービスを利用する人が、必要とする情報を得ることができるよう、分かりやすくきめ細やかに情報を提供します。 ◆必要な人が必要な情報を適切に選択できるよう、広報誌やホームページをはじめ様々な情報発信ツールを活用し、わかりやすい情報提供に努めます。	5	福祉課	・子育て関係行政サービスを紹介するパンフレットなどを作成し、窓口を設置した。 ・新たな制度や変更点について町報、ホームページを活用して周知を行った。	引き続きわかりやすい福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施		福祉サービスに関する情報の入手状況 「十分できている」、「まあまあできている」と回答した割合	20%	次回アンケートでの把握内容	増加
				健康対策課	高齢者のための各種福祉サービス一覧を作成し、必要に応じて配布した。またホームページに掲載し、いつでも閲覧及びダウンロードできるようにした。	高齢者に関する介護保険に関するサービス給付以外の福祉サービスについて随時見直し、一覧表にして提供する。	実施	実施	実施	実施	実施					
				社会福祉協議会	サービス利用促進につながるように福祉情報を広報紙、ホームページ、チラシ、ふくしの集い等で住民に周知した。	引き続き、様々な媒体や機会を通じて福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
情報手段の効果的な活用	◆支援を必要とする人が、必要なときに、必要とする福祉情報を得ることができるよう、広報誌やホームページ等を活用し情報を提供します。 ◆SNS等、利用しやすいツールの活用を検討していきます。	6	企画課	広報紙、区長便配布チラシ、テレビ番組、文字放送、ホームページを中心に、情報を伝える手段を検討した。	引き続き情報伝達ツールを検討する。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	生活困窮者自立支援事業においてSNSを活用した相談対応を行った。	引き続き効果的な活用に努める。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑤-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑥-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑧数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
身近なところでの情報共有の充実	◆民生委員・児童委員等への情報提供を強化し、地域での情報提供・共有体制の強化を図ります。 ◆地域へのアウトリーチと連携による情報収集・提供体制を強化します。	7	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	地域へのアウトリーチと連携による提供体制強化として以下の取り組みを行った。 ・福祉地域座談会を16集落で行った。 ・愛の輪運動推進会議を6地区で開催し、地域福祉サービスの活用方法等について意見交換を行った。 ・各種事業及び団体事務の事業を通じてニーズの把握に努めた。	引き続き様々な事業や機会を活用して、ニーズと課題を把握できるように努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

主要な施策(3)福祉サービスの充実

具体的な施策														
福祉サービスの充実	インフォーマル(制度外)サービスの充実	8	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
			社会福祉協議会	配食サービス事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 年182回、3,270食	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて、配食サービスの提供を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
			社会福祉協議会	友愛訪問事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 対象者136人	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて友愛訪問を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
			健康対策課	日常生活支援を行い助け合う住民主体の仕組みを構築する推進役として、生活支援コーディネーターを配置し、デマンドバスの利用促進や高齢者の通いの場について地域と意見交換する等の取り組みを行った。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
	利用者ニーズに応じたサービスづくり	9	福祉課	・子ども家庭総合支援拠点運営事業 設置形態 小規模A型 配置人員2人 ・養育支援訪問事業 対象 19ケース 訪問回数 直営99回 委託114回 ・子育て世帯訪問支援事業 伯耆町社協に委託 対象 3ケース 訪問回数52回 ・ファミリーサポート事業 登録会員数48人 延べ依頼件数24件	引き続きニーズに応じたサービスの新設、見直しを検討していく。ファミリーサポート事業は、支援会員確保が課題。	実施	実施	実施	実施	実施				
			社会福祉協議会	独居世帯や高齢者世帯などの本人以外の世帯員からの支援が十分ではない方のため、届いた書類の内容理解や書類記載を訪問し支援する「読み書きサポート事業」を実施した。 対象者3名 支援回数4回	既存事業や公的サービスで対応できないニーズや課題に対して、随時サービスの新設を検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施				

施策	内容	番号	所管	R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
介護・福祉・生活支援サービスの充実と質の確保			社会福祉協議会	各事業でケース検討会議等を行い、総合的なマネジメント力の向上を図った。また、各種相談業務では個別ケースにおいて他機関等とも連携してニーズに対応できるように調整を図った。	継続してマネジメント力が強化できる体制充実に努め、ニーズに応えられるようにしていく。	実施	実施	実施	実施	実施	町の福祉施策に対する満足度「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合	45%	次回アンケートでの把握内容	増加	
			健康対策課	南部箕蚊屋広域連合の居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務を推進するため事例を通じたケアマネジメント支援会議を開催した。実施回数 2回	居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務の推進とケアマネジメント技術の向上を目的に、事例を通して視点の確認、知識の共有を図るための支援会議を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
		◆個別計画に基づき、関係機関と連携してサービスの提供体制の充実に取り組みます。	福祉課	福祉サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
		◆適切なサービス提供が行われるように事業所の指導や苦情解決等に取り組みます。	健康対策課	介護、生活支援サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
		◆サービスの質の向上を図るため、人材の育成に努めます。	社会福祉協議会	苦情処理解決第三者委員会を設置し、第三者の意見も反映させながら苦情等に対して適切に対応した。介護サービスにおいて、運営指導を受けて指摘のあった内容について取り組んだ。	苦情処理解決第三者委員会、定期的な運営指導を受けることによって適切なサービスの質の確保に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

主要な施策(4)権利擁護の推進

具体的な施策														
権利擁護の推進	権利擁護、成年後見制度の周知と利用促進	◆関係機関と連携し、制度の普及啓発を図り、制度の利用につなげます。 ◆必要に応じて、成年後見町長申し立てや成年後見人報酬助成を行います。 ◆成年後見制度の利用促進のため、専門職による専門的助言等の確保や広報・相談支援等の中核的な機能を担う機関を設置します。	福祉課	制度の普及啓発のため法人後見支援事業を県西部9市町村共同委託の形で実施した。委託先:一社)権利擁護ネットワークほうき共同委託総額:231,744円うち伯耆町分: 10,790円	継続して事業に取り組み、法人後見制度の浸透を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	成年後見制度の認知度「制度内容を含め知っている」と回答した割合	27.9%	次回アンケートでの把握内容	増加
			福祉課	障がいにより市町村長の後見開始の審判等の請求を要する者への支援のため「成年後見制度利用支援事業」を実施するもの。利用実績 0件	申請が出た場合対応できるよう事業を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施				
			健康対策課	身寄りが無い、経済的虐待を受けているなど特に必要があると認めるときは、市町村長が後見開始の審判等の請求を行うもの。利用実績 0件	継続して、支援の必要な高齢者の利用促進を図り、高齢者の権利擁護を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
			健康対策課	中核機関としての役割を果たすため、一般社団法人権利擁護ネットワークほうきに業務の一部を委託し、高齢者の成年後見制度の活用を推進した。ネットワークほうきでの相談受付 106件	成年後見制度等に係る専門的な法的支援が必要な相談等について、弁護士、司法書士、税理士、社会福祉士、行政書士、精神保健福祉士などで構成する「一般社団法人権利擁護ネットワークほうき」に委託し、制度利用の推進をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施				

施策	内容	番号	所管	⑦R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑨-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑩数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R6	目標 R8
虐待の未然防止 と早期発見、早期対応	◆高齢者、障がい者や子どもに対する虐待の防止に向け、住民への意識啓発を行います。 ◆関係機関等との連携や情報共有を図りながら、早期発見・早期対応して事件・事故の未然防止に努めます。	12	社会福祉協議会	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用援助や金銭管理サービスを行う「福祉サービス利用援助事業」を実施した。利用者14人、支援回数289回	引き続き事業を継続し、支援を必要とする人が地域の中で安心して暮らせるようにサポートする。	実施	実施	実施	実施	実施					
			福祉課	関係機関との情報共有を図り、支援につなげることができた。 ・要保護児童ケース 21件(R6年度末) ・要対協個別支援会議開催 60回	関係機関と連携を図り、児童虐待防止対策の充実と支援体制の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			福祉課	・障害者虐待の防止、擁護者に対する支援を虐待防止センターにて実施するもの。 相談対応件数 0件	引き続き障害者虐待の防止啓発や、関係機関との連携を充実させ、支援体制の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
人権教育・男女共同参画の取り組み推進	◆お互いの人権を尊重することの重要性を正しく認識し、他者の人権を十分尊重した行動が取れるように人権教育・人権啓発を推進します。 ◆家庭生活や地域での社会活動に男女が対等に参画することができるよう取り組みを推進します。 ◆心のバリアフリーにつながる取り組みの推進により地域住民が支え合う理念の周知を図ります。	13	健康対策課	・広報及びホームページで高齢者虐待の考え方、地域で高齢者虐待を疑うケースがある場合の相談先などを周知した。 ・関係機関等との連携や情報共有を図り、高齢者虐待の早期発見・早期対応に努めた。 相談対応件数 5件	・継続して、高齢者虐待についての考え方や、気づいた時の対応方法などを周知していく。 ・継続して、関係機関と連携し、早期発見・早期対応と、虐待につながらないように家族支援を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			教育委員会	人権を尊重する住民意識の醸成のため、ひまわりセミナー、伯耆町人権フォーラム、人権啓発標語等を通じて各種の人権課題の啓発を行った。	引き続き、各事業を通じて効果的な啓発に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			総務課	男女平等の住民意識の醸成のため、男女共同参画推進計画に基づき、意識啓発に関する広報を実施した。(広報ほうき、CATV、防災無線)	引き続き広報を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			関係各課	関係各課の計画や所管事業において住民同士が支え合いながら暮らす地域づくりを推進の基本とした取り組みを推進した。	引き続き所管事業を通じて支え合いの理念周知の取り組みを行っている。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8	
主要な施策(5)配慮が必要な人への支援																
具体的な施策																
地域社会からの孤立の防止	<p>◆引きこもり、障がい、ひとり暮らし、ひとり親等についてそれぞれの相談窓口の体制を強化し、当事者意識に立ちながら、対象者が地域社会との繋がりが保てるよう支援していきます。</p> <p>◆友愛訪問等のアウトリーチを通して、配慮が必要な人を早期に発見し、必要な支援策に結び付けます。</p> <p>◆サロン活動や支え愛マップづくりを通じて、地域づくりを推進していきます。</p>	14	福祉課	<p>・福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。</p> <p>・ひきこもり支援や孤独・孤立対策など県が県下で整備を進める連携体制構築の会議に参加し、意見交換を行った。</p> <p>・R6年度よりひきこもり支援を行う「ひきこもりサポート事業」を開始(実施先:伯耆みらい)。</p>	必要に応じ課の相談機能を充実していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	<p>友愛訪問事業を実施して、独居高齢者の生活の把握と必要に応じてサービスに繋ぐなどした。対象者136名</p>	継続して実施する。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	<p>福祉委員による見守り活動により活動地域で支援が必要な人を把握し、支援のため関係機関に繋いだ。</p>	引き続き活動を推進するとともに、様々なアウトリーチ手法を検討し、配慮が必要な人の早期発見に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
貧困等で生活が困難な人の生活支援	◆自立した生活が困難に陥っている人を、地域や関係機関と連携して把握し、自立や就労に向けた相談や金銭的支援を行います。	15	福祉課	<p>生活困窮者自立支援事業を実施し生活が困窮する人の支援を行った。</p> <p>・生活困窮自立支援事業 伯耆町社会福祉協議会に事業を委託 委託料 7,270,070円</p> <p>・住居確保給付金 申請 0件 物価高騰等による家計急迫の低所得者世帯に対し助成を行った。</p> <p>・低所得者に対する光熱費助成 対象 128世帯 助成総額 640,000円 (1世帯当たり5,000円)</p> <p>・家計負担激変緩和対策事業助成 対象 128世帯 助成総額 1,280,000円 (1世帯当たり10,000円)</p> <p>・灯油代等家計負担激変緩和対策事業助成 対象 137世帯 助成総額 685,000円 (1世帯当たり5,000円)</p>	<p>必須事業のほか、他の支援についても実施検討を行う。また、低所得者世帯に対する助成金等について、引き続き県補助金等を活用しながら事業を継続する。</p>	実施	実施	実施	実施	実施						

配慮が必要な人への支援

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
			社会福祉協議会	生活にお困りの方をサポートするために以下の事業を実施し、支援を行った。 ・生活困窮自立支援事業 新規相談7人、継続相談16人 ・生活福祉資金貸付事業 相談2件(貸付2件) ・えんくるり事業 利用者2人 ・困窮時食料支援事業4件	引き続き事業を継続し、生活に困った方が自立した生活ができるようにサポートしていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			福祉課	ひとり親家庭の父又は母に就職を容易にするために必要な資格の取得を促進するため当該資格に係る養成訓練の受講期間に給付金を支給する事業を実施した。 母子家庭自立支援給付金 支給人数 0人	引き続き、申請が出た場合対応できるよう事業を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
自死予防の推進	◆相談体制を強化するとともに、精神疾患やメンタルヘルスについての普及啓発を行い、地域における心の健康づくり推進体制の整備を行います。	16	福祉課	心の健康づくり推進の取り組みを実施した。 ＜心の健康相談＞ 保健師による個別面談を定期で実施した。 実施回数 12回 相談者数 実12人 ＜心の健康講演会＞ 精神疾患や精神障がい者に対する正しい知識の普及のため、講師を招いた講演会を実施した。 参加者数:80人 講師:西伯病院 精神科医師	精神疾患の早期発見・早期治療に努め、必要な医療やサービスにつなげていく。				実施	実施	実施	令和6年度より、自死対策事業の所管が健康対策課から福祉課に移管			
子どもの安全の確保	◆登下校時の犯罪や事故防止のため、スクールガードリーダーの配置等により、子どもたちの安全を見守ります。	17	教育委員会	登下校時の犯罪や事故防止のため、岸本地域に1人、溝口地域に1人、計2人のスクールガードリーダーを配置した。	登下校時の犯罪や事故防止のため、子どもたちの安全を見守る体制を整備していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
消費者被害の防止	◆被害発生情報を速やかに周知するとともに、消費生活相談の解決に向けた助言を行います。 ◆相談内容により、他の相談窓口との連携を図ります。	18	住民課	消費生活相談の取り組みを以下のとおり実施した。 ・相談窓口の開設 件数20件 ・出前講座 4回開催	悪質商法契約のトラブル、食品や製品にかかわる事故及び特殊詐欺などの被害相談の解決に向けた助言・注意喚起を行う。老人クラブ等の要望により消費生活講座の出前講座を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			住民課	地域包括支援センターが実施している「伯耆町認知症SOSネットワーク」に「伯耆町消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)」の機能を持たせることとした。	伯耆町認知症SOSネットワークに見守りネットワークの機能を持たせることで情報共有及び見守り体制の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	⑧所管	⑨R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑪-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑫数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8

基本目標2 支え合いの地域づくり

主要な施策(1)地域福祉意識の高揚

具体的な施策															
地域福祉意識の高揚	福祉教育・福祉体験活動の推進	19	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 <補助率>10/10 <支出済額>738,000円	福祉教育活動の推進するため、引き続き事業に要する補助を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	夏休みふくしボランティア体験交流を実施した。 7メニュー 参加者170人	子どもたちの福祉意識醸成のため、各種体験メニューを実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	福祉教育として、車いす・高齢者疑似体験について小学生を対象に実施した。 八郷小学校4年生8人	夏休みふくしボランティア体験交流事業とは別途、学校での福祉教育事業を継続して実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	教育委員会を通じた中学生ボランティア(ゆめネット)を受け入れ、各種事業にボランティアとして参加してもらった。 4事業、32人	継続して受け入れ、中学生のボランティア意識醸成に努めていく。	未実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	福祉啓発を目的としたイベントを実施した。 「ふくしの集い」令和6年10月6日 全国の中でも先駆的に地域福祉を実践し、日本初のコミュニティソーシャルワーカーである豊中市社協の勝部麗子氏を招いての講演会その他、町内福祉関連事業所等の展示・販売、赤十字奉仕団の炊出し、能登半島義援金活動を行った。	継続して福祉啓発のイベント開催に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	福祉課	20	障がいの特性理解や理解意識の啓発を目的とした「理解促進事業」として「地域支援セミナー」を県西部9市町村共同で実施した。(米子市が支払し、事業終了後に米子市への負担金方式で実施) 共同実施総額: 20,000円 うち伯耆町分: 931円 ・鳥取県西部障害者自立支援協議会で「障害当事者のお話を聴く会」を開催し、参加者の当事者視点の意見を聴取して今後の協議会活動に反映するようにした。	継続して鳥取県西部障害者自立支援協議会で西部圏域の障害福祉に関する研修事業を企画し、障害や制度理解を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	健康対策課	認知症の基礎知識や予防方法、町が実施している事業、脳を活性化させる脳トレ等を掲載した「オレンジガイド」を作成。広報ほうきに差し込みし、発行した。 発行回数 8回 (4月～7月は毎月発行、7月以降は奇数月に発行した) 発行数 3,900枚/回	引き続き、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図り、自分事として認知症をとらえることにより、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指す。	実施	実施	実施	実施	実施							
	企画課	担当課・関係者からの要請によりCATVで番組やニュースを制作、情報発信を行った。	引き続き、番組制作を通じ地域福祉の情報発信に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施							
	地域福祉についての意識啓発の推進	◆障がいの特性や障がいがある人への必要な配慮を正しく理解するための意識啓発を図ります。 ◆認知症に関する正しい知識の普及啓発に努めます。 ◆地域福祉に関する番組を制作・放送し、意識啓発を行います。										住民相互の協力関係についての認識 住民相互の自主的な協力関係が「必要だと思う」と回答した割合	66.8%	次回アンケートでの把握内容	増加

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
主要な施策(2)福祉ボランティア活動の推進															
具体的な施策															
ボランティアセンターの充実とネットワークづくり	◆福祉ボランティアに関する関係団体・個人との連携を強化し、福祉ボランティアセンターの機能の充実を図ります。	21	社会福祉協議会	ボランティアセンターとしてボランティア活動の支援に取り組んだ。 ・登録者 47人 ・認知症予防教室ボランティア 参加者 285人 ・ゆるっとボランティア 35回実施、参加者 70人	既存の事業を継続しながら、より幅広いボランティアの依頼や派遣を調整できるように機能の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		伯耆町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録している人数	44人	47人	50人
ボランティア活動の周知・啓発	◆ボランティアに関する情報の収集と発信を行います。 ◆ボランティア活動を担う人材の発掘、育成を行います。 ◆ボランティア活動報告や参加者募集等の情報提供を行います。	22	企画課	文字放送や区長便等での情報提供や広報誌掲載・番組制作でボランティア活動の報告機会を設けた。	引き続き情報提供や活動報告の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を整備する。	実施	実施	実施	実施	実施		ボランティアや地域の活動への参加意向「現在参加している」、「今後参加したい」と回答した割合	48.9%	次回アンケートでの把握内容	増加
			社会福祉協議会	ボランティア情報の提供、収集を行った。 ・広報紙でゆるっとボランティアの紹介と募集 ・ボランティアセンター日より 年1回発行(2月)	ボランティアセンター日より、広報紙を活用して住民にボランティア情報を周知していく。	未実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	ボランティア活動人材の発掘・育成に取り組んだ。 ・ゆるっとボランティア ・ボランティア研修会(年1回) ・中学生ボランティア「ゆめネット」参加者に、事前研修会を行った。	ゆるっとボランティアを継続実施し、ボランティアの裾野を広げる。ボランティア活動推進のため研修会を継続実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
継続的な取り組みへの支援	◆継続的な活動で何らかの効果が期待できるボランティア活動は、維持・発展できるよう環境を整えていきます。 ◆住民のニーズや意欲をふまえた多様な福祉ボランティア講座の開催を検討します。 ◆福祉ボランティアのコーディネート機能の強化を図ります。	23	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 ＜補助率＞10/10 ＜支出済額＞737,508円	引き続き社会福祉協議会へ補助金を交付し、ボランティアセンターの機能強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	未実施	ボランティア人材の育成のため、ボランティア養成講座の開催を検討する。介護支援ボランティア養成講座は令和7年度から実施をする(隔年)。	未実施	未実施	未実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	ボランティア関連研修へ参加した。	研修会や養成講座に参加しコーディネート機能強化に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	⑧所管	⑨R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑩-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑪-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑫数値目標及び目標達成状況					
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8		
主要な施策(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進																	
具体的な施策																	
支え合い活動の推進	◆地域の絆づくりにつながる住民参加の事業の開催を支援します。 ◆自治会、福祉委員と協働し、地域における福祉活動への理解と推進に取り組みます。	24	福祉課	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブへ運営費を助成した。 連合会 694,000円 単位クラブ 2,114,000円(34クラブ)	継続して地域住民が参加できる事業が推進できるように助成していく。	実施	実施	実施	実施	実施							
			社会福祉協議会	身近な地域で支え合いの輪を広げ、安心して暮らせる地域づくりの推進役である福祉委員の設置など以下の取り組みを行った。 ①福祉委員を通じた小地域福祉活動の推進 福祉委員84集落、131人 ②福祉委員を対象にした研修会の実施 ③サロン活動 職員派遣回数38回 ・ふれあいサロン活動 ・老人クラブによるサロン、いきいき百歳体操、eスポーツ体験など集いの場	福祉委員活動を継続し、小地域の支え合い体制づくりを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施							
小地域福祉ネットワーク活動の構築	◆小地域福祉ネットワーク活動の基礎となる自治会活動の支援を行います。 ◆住民が地域福祉を「我が事」として考え、行動できるように働きかけます。 ◆地域へのアウトリーチ活動を推進し、地域課題の把握と解決に向けた検討を行います。	25	企画課	集落の自治活動の振興を支援するため地域自治活動交付金を交付した。 89集落 16,118,786円	納税組合集金手数料の年次的減額に伴い、R5年度より基礎算定額を4,000円から5,000円に拡充。引き続き集落の自治活動振興の支援に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施							
			福祉課	地域における福祉活動の推進のため助成を行った。 ・民生児童委員協議会運営補助金 <交付額>2,158,044円 ・伯耆町社会福祉協議会補助金 <対象事業>愛の輪運動事業 <補助率>5/10 <交付額>499,776円	小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施							
			社会福祉協議会	地域の現状や課題について把握し、住民と共有するために座談会を実施した。 16集落、参加者数162人	継続して実施し、地域の現状や課題について把握し、社協事業に活かしていけるようにする。	未実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え愛マップづくり 1集落	マップづくりを進めていく中で、各地域の課題についても集約・検討し、関係機関に繋ぐなど必要に応じた対応をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			健康対策課	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進した。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での支え合い活動の取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R6	目標 R8
地域福祉の担い 手づくり	<p>◆高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために、地域や介護保険施設等においてボランティア活動を行う「介護支援ボランティア」を養成します。</p> <p>◆地域福祉活動に、住民が担い手として参加できるきっかけづくりを推進します。</p> <p>◆講座や研修会を通じて、地域福祉活動を展開できる人材を育成します。</p>	26	健康対策課	町主催による、介護支援ボランティア養成講座は終了。 令和5年度以降、実施主体を社会福祉協議会に移行し、後方支援を行う。R6は社会福祉協議会の予算取りがなく実施なし。	社会福祉協議会が実施する講座の後方支援を行い引き続きボランティアを養成することで、各種介護予防事業で活躍する場をつくり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを行っていく。また町主催の健康運動アドバイザー養成講座(3年に1回)とも共同開催する予定。	実施	完了	完了	完了	完了	事業継続中(隔年実施) 実施主体を社会福祉協議会に移行	介護支援ボランティア養成講座の受講者数	6人	0人	20人
			社会福祉協議会	R6は予算の関係上、未実施。	介護支援ボランティア養成講座は令和7年度から実施をする(隔年)。			未実施	実施	実施	事業継続中(隔年実施) 実施主体を社会福祉協議会に移行				
			社会福祉協議会	福祉委員制度により、地域福祉の担い手づくりを推進した。	引き続き福祉委員制度等の地域福祉活動が活性化するように、住民の活動参加を促していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	地域福祉活動を担う人材の育成を以下のとおり取り組んだ。 ・愛の輪運動推進会議兼福祉委員研修会 小地域単位6校区で実施	引き続き人材育成に繋がる講座や研修会を企画、推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施					

主要な施策(4)福祉活動への支援

具体的な施策																
福祉活動への支援	各種福祉活動団体への支援	27	福祉課	地域の自主的な福祉活動団体に対して助成を行った。 老人クラブ(単位、連合会)、敬老会、身体障害者福祉協会、日赤奉仕団	引き続き各種福祉団体の活動が活性化するように助成を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			健康対策課	オレンジカフェを運営する団体または個人に対し、補助金を交付し、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにするとともに、認知症の人の家族負担を軽減した。 補助金交付対象 2団体 補助金交付額 140,000円	オレンジカフェ開催団体が2団体となったので、今後も補助金を交付し交流の場を確保する。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	年間を通じて各種団体の研修、学習活動を企画、実施した。 老人クラブ、赤十字奉仕団、身体障害者福祉協会	引き続き各種団体の研修、学習活動を企画し、団体活動の活性化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	①各種団体の事務局を担った。 身体障害者福祉協会、遺族会、老人クラブ、赤十字奉仕団 ②自治会や福祉団体の活動資金を助成した。 福祉委員活動助成、サロン助成	継続して事務局を担い、各種団体の活動を支援し、活動促進を図っていく。集落の福祉活動を推進するため各種助成を継続して行う。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑨-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑩数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
団体間の交流・連携の促進	◆一体的な地域福祉活動が展開できるように、各種団体間の交流や連携の促進を図ります。 ◆連絡会や研修会を通じて、活動に関する情報共有や連携を図ります。	28	社会福祉協議会	団体間の交流・連携の促進は表立った事業の形ではないが小規模保育所、身体障害者福祉協会、作業所みらいとの交流を行った。	各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。	未実施	検討	検討	実施	実施					
			企画課	文字放送や区長便などで福祉活動担当課が周知したい福祉情報を提供できるような場を設けた。	引き続き情報提供の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を作っておく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	愛の輪推進会議を通して地域の福祉課題について福祉委員、民生委員へ情報提供、意見交換、情報収集を実施した。	地域福祉活動の先進的な事例や専門的内容、制度情報等の情報を積極的に収集し、その担い手に情報提供していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
福祉活動情報の提供	◆福祉活動への理解・認識を深めるため、福祉活動団体に関する情報の提供を行います。 ◆地域福祉の担い手や専門機関の活動を支援するため、必要な情報の収集を行うとともに、積極的な情報提供に取り組みます。	29	企画課	文字放送や区長便などで福祉活動担当課が周知したい福祉情報を提供できるような場を設けた。	引き続き情報提供の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を作っておく。	実施	実施	実施	実施	実施					
社会福祉協議会	愛の輪推進会議を通して地域の福祉課題について福祉委員、民生委員へ情報提供、意見交換、情報収集を実施した。		地域福祉活動の先進的な事例や専門的内容、制度情報等の情報を積極的に収集し、その担い手に情報提供していく。	実施	実施	実施	実施	実施							
主要な施策(5)社会福祉協議会との連携強化															
具体的な施策															
社会福祉協議会との連携強化	社会福祉協議会へ活動支援と連携強化	30	福祉課	・地域福祉活動の推進を図るため補助を行った。 伯耆町社会福祉協議会補助金65,981,004円 <対象事業>事務局運営、老人福祉センター運営、愛の輪運動、日常生活用具貸与、ボランティア推進、わがまち支え愛、溝口健康増進 ・地域福祉推進プランの前年度取組状況と今後の取組の推進について意見交換を行った。	引き続き伯耆町社会福祉協議会の活動推進のための補助を行うとともに、活動の連携の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	住民と社会福祉協議会の協働による福祉的課題の検討		31	社会福祉協議会	住民と地域の福祉的課題を考える場として、以下の取り組みを行い、地域の課題の共有を図った。 ①座談会 ②福祉委員、サロン ③支え愛マップづくり	引き続き各種事業を通じ把握した地域課題について関係機関との課題共有や解決策の検討に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施				
	社会福祉協議会の基盤強化		32	社会福祉協議会	地域福祉推進の中核を担う組織として、関係機関とのネットワークを形成し、地域福祉の推進に向けた体制の充実や、スタッフの専門性を高めるように組織体制充実の取り組みを行った。 ①内部・外部研修への参加 ②資格取得助成 ③職員会議、ミーティング実施	研修参加や資格取得を積極的に図り、スタッフのスキルアップを通じて組織力の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施				
社会福祉協議会の基盤強化	社会福祉協議会	安定的な法人経営のため、以下の取り組みを通じて財政基盤強化を図った。 ①社協会員加入促進 ②共同募金事業 ③各種補助金・助成金の積極的活用 ④健康増進事業		継続して会員加入促進と収益確保に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施						
											社会福祉協議会の会員数	一般会員 2,477 世帯特別会員 25企業・団体 賛助会員4人	一般会員 2,319 世帯特別会員 30企業・団体 賛助会員5人	増加	

施策	⑦内容	番号	④所管	⑦R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑧-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑨-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑩数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8	
主要な施策(6)災害時の防災体制の充実																
具体的な施策																
災害時の 防災体制の 充実	災害時要援護者 台帳制度の周知、推進	33	総務課	災害時要援護者台帳制度の周知、整備として、各区長へ登録済みの方の継続意思確認、新規登録者の取りまとめを依頼し、適宜更新を行った。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		災害時要援護者台帳登録者数	409人	279人	増加	
				災害時要援護者台帳の情報共有として登録者がいる集落へ更新した台帳を配布した。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	避難所等の整備	34	総務課	現在、福祉避難所は岸本保健福祉センター、岸本老人福祉センター、溝口福祉センター、岸本デイサービスセンターの4か所を指定。	必要に応じて住民へ福祉避難所について周知を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			総務課	避難所物品等を必要に応じ整備した。	引き続き施設及び設備の必要な整備を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			教育委員会	り災時対応住宅を2戸1棟を維持管理した。	引き続き必要数を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	自主防災組織への支援	35	総務課	自主防災組織で必要な物品購入や設備の修繕に対し、消防施設整備補助金を交付した。 申請件数 23件 交付金額 4,302,000円	引き続き自主防災組織に必要な補助金を交付していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			総務課	防災情報や指導の取組みを行った。 ・町防災無線を通じ、適宜防災情報を提供した。	防災に関する情報提供や指導について適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	防災訓練の実施	36	総務課	伯耆町防災の日に合わせて全町対象に避難訓練を実施した。(区長協議会主催)	引き続き避難訓練を年1回程度実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え愛マップづくり R6 1集落	マップづくりを進めていく中で、防災訓練や避難訓練についても検討を行い、必要に応じて実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	災害ボランティアセンターの機能強化	37	社会福祉協議会	災害ボランティアセンターの設置・運営マニュアルは作成してあるが、それに基づいた訓練等は未実施。	マニュアル自体が以前に作成したものであり、内容について問題はないか点検をする。災害ボランティア研修を開催し、住民の理解を促進していく。	未実施	未実施	未実施	実施	実施						
社会福祉協議会			鳥取県内社会福祉協議会災害時の相互応援協定を締結している。	県社協を中心に県内社協で応援協定を結び、広域災害支援の連携体制を充実させていく。	実施	実施	実施	実施	実施							

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8

基本目標3 いきいきと暮らせる環境づくり

主要な施策(1)地域における交流活動の充実

具体的な施策												
交流の場、居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者の介護を行っている人や子育て中の保護者等、同じ悩みを抱えている人同士が交流できる場の充実を図ります。 ◆障がい者の居場所づくりの推進を図るため、日中活動を支援する取り組みを行います。 ◆公共施設を有効に活用し、気軽に立ち寄ることができる場づくりに努めます。 ◆交流拠点となる自治会公民館の整備や交流等の地域活動を支援します。 ◆福祉委員、老人クラブ等と連携し、気軽に楽しく、身近なところで参加しやすいサロン活動を実施します。 	38	健康対策課	<p>伯耆町障がい老人をささえる家族の会が行う介護家族のつどい、家族介護教室などを行うための事務的な補助と専門職の派遣を行った。</p> <p>実施回数 12回 会場 パルプラスオンの和室または溝口公民館和室(交互) 派遣職員 保健師、認知症地域支援推進員</p>	引き続き、当事者やその家族、知人などが気軽に集まり、和やかな雰囲気の下で交流を楽しみながら、高齢になっても住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにするとともに、その家族の負担を軽減するため、活動拠点の運営をサポートする。	実施	実施	実施	実施	実施		
		福祉課	<p>子育て支援センターで、子育てに関する情報提供、手作りおもちゃの講習や遊びの紹介、保護者のストレス軽減のための活動、季節に合わせた交流行事、子育て相談等を実施した。</p> <p>延べ利用人数:子ども 1,776人、大人 1,764人 延べ利用世帯数:111世帯</p>	子育て支援・交流の場の提供を図るため、子育て支援センターの運営を継続して実施する。また、新たな子どもの遊びの場の整備について検討する。	実施	実施	実施	実施	実施			
		福祉課	<p>溝口駅前障害者社会参加推進の施設運営費を支援した。</p> <p>実施事業所(伯耆みらい) 補助金額 2,400,000円 営業日254日、職員体制3人 地域でのふれあい居場所づくりとして、茶話会等の実施。町内イベントに参加。</p>	障がい者社会参加を推進するため、引き続き施設の運営に対し補助を実施する。地域で障がい者も参画するふれあいの居場所としての活用例が増加するよう取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施			
		社会福祉協議会	<p>障がい者の居場所づくりとして身体障害者福祉協会の活動を支援し、研修会、体育大会、レク活動等の取り組みを行った。</p>	引き続き事業を実施し、障害者の生活を支援していく。	実施	実施	実施	実施	実施			
		社会福祉協議会	<p>みぞくちテラスで、運動や作業を通じた仲間づくり、居場所づくりを推進した。</p> <p>来館者数6,578人</p>	運動や作業を通じて、地域の居場所となるようにしていく。	実施	実施	実施	実施	実施			
		福祉課	<p>ひきこもり支援として対象者の交流、居場所づくりを行う「ひきこもりサポート事業」を令和6年度から実施(実施先:伯耆みらい)。</p>	ひきこもり支援の施策として周知を図り定着させていく。	未実施	検討	実施	実施	実施			
		関係各課	<p>公共施設の有効活用により交流の場を設けた。</p> <p>・溝口テラスのセルフカフェを誰でも自由に利用でき、地域交流の場として提供した。</p>	引き続き施設を有効活用した、地域住民の交流の場の整備を推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施			

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
地域における交流活動の充実	交流の機会づくり	39	企画課	地域交流の場の整備として集落が管理している公民館等の整備に対し補助を行った。 <公共施設整備事業> ・公民館等の整備拡充等 3件 (宮原、大寺、溝口一区) ・その他付随設備 1件 (船越) ・公園整備 1件 (三部二区) ・墓地外構 3件 (根雨原、上細見、父原)	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	身近な地域で参加できるサロン活動として以下の事業実施を支援した。 ・ふれあいサロン活動 ・老人クラブによるサロン、いきいき百歳体操、eスポーツ体験など集いの場	地域住民が気軽に参加できるサロン活動を維持充実させていく。	実施	実施	実施	実施	実施		ふれあいサロン開催回数	67集落143回	45集落190回	増加
			福祉課	障害者社会参加推進活動拠点運営により「ポッポみらい」の活動費を助成し障害者と学校や地域との交流活動を促進した。	引き続き拠点活動費を助成し、交流活動を促進していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	イベント「ふくしの集い」を開催し交流の機会づくりに努めた。 開催日 令和6年10月6日(日) 場所 鬼の館	継続して企画、開催し、地域や福祉団体のふれあいの機会を提供する。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	独居高齢者の交流や閉じこもり予防を目的に、「実りの会」を実施した。 実施回数 6回、参加者数 134人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
			教育委員会	各公民館、文化センター、図書館で様々な世代への学習機会の提供を図る講座・事業等を実施し、交流の機会を設けた。	各公民館等で地域住民が参加しやすい講座・事業等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況			
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R6	目標 R8
主要な施策(2) 社会参加・生きがいつくりの推進															
具体的な施策															
社会参加・生きがいつくりの推進	シルバー人材センターへの加入促進	40	福祉課	南部広域シルバー人材センターの活動を支援するため補助を行った。 補助金額 6,609,504円	南部広域シルバー人材センター活動を支援するため、引き続き補助を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		南部広域シルバー人材センターに登録している人数	348人	327人	400人
	生活支援体制の整備	41	健康対策課	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進することで、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを推進した。 生活支援コーディネーターの設置 2人 協議体の開催 2回 地域に向いての通いの場での意見交換(まめまめクラブやサロン等) 37箇所 広報ほうきへの啓発記事の掲載 3回(7・11・3月号) ※R5年度までは、年2カ所の住民主体の通いの場の創出を実施してきたが、R6～8年度は新たに通いの場での意見交換会を1箇所につき年1回開催する。(目標設定を変更した)	引き続き、社協と協働しながら、地域における支えあい活動を推進する。	実施	実施	実施	実施	実施		生活支援コーディネーターが支援を行った住民主体の活動団体数	2件	1件	10件
	生きがいつくりの支援	42	福祉課 教育委員会	障害福祉サービスの提供により就労支援を図った。 就労移行支援 0人 就労定着支援 0人 就労継続支援A型 18人 就労継続支援B型 63人	障がい者の社会参加を推進するため、引き続き就労移行及び就労継続の支援を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施					
			教育委員会	生涯学習提供の場として、各公民館で高齢者学級を開催。また、4館合同での研修会を開催した。	各公民館、4館合同での高齢者学級等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施					

施策	⑦内容	番号	④所管	⑧R6年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	⑨-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	⑩-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑪数値目標及び目標達成状況				
						R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R6	目標 R8	
主要な施策(3)外出しやすい環境の整備																
具体的な施策																
外出しやすい環境の整備	移動手段の確保	43	分庁総合窓口課	各種障害者手帳所持者(指定難病も含む)及び介護認定を受けている者を対象に、『外出支援サービス』として、自宅から医療機関までの送迎を実施した。(登録制) 登録者数 117人 利用者数 延べ1,121人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		外出支援サービス登録者数	104人	117人	110人	
			分庁総合窓口課	・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施した。 ・デマンドバスの利用方法を広報、GATVにて周知した。 利用者数 延べ21,616人(有償利用)	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		デマンドバス利用者数	23,629人(R1)	21,616人	20,000人	
			社会福祉協議会	有償運送事業を実施し、要介護の方や障害の方の移動を支援した。 利用者数147人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施						
			社会福祉協議会	生活支援コーディネーターと連携して取り組んでいる「伯耆おたがいさまネット」で他の福祉課題とともに共助交通について体制づくりやニーズの高い地域でのモデル事業を行った。	令和6年度からデマンド体験などモデル的に事業を実施している。	検討	検討	実施	実施	実施						
バリアフリー環境の整備		44	総務課	八郷小学校に多目的トイレの設置、JR伯耆溝口駅待合室(遊学館)トイレの洋式化を行った。	引き続き必要な部分について検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
			福祉課	・民間施設、店舗等のバリアフリー改修を支援するため、福祉のまちづくり推進事業を実施した。 助成件数 0件 ・上記事業により整備を行う建築主の募集を行った。 応募件数 0件	引き続き事業を継続し、バリアフリー環境を整えていく。	実施	実施	実施	実施	実施						